10月いまふく

2026.10.1
和歌山市立
今福小学校
第192号

「言葉にできない『かまって』のサイン」

秋の深まりとともに、学校でも運動会の練習が始まり、子どもたちは心身ともにエネルギーを使っています。そんな時期、ご家庭でお子様にこのような様子は見られませんか？

- **急にわがままが増えた、乱暴な言葉遣いをする**
- **自分でできることを「やって」と甘えてくる**
- **弟や姉妹（兄弟）ばかりズルいと主張する**
- **問いかけても無視したり、返事をしなかったりする**

一見すると「手がかかる」「困った行動」に見えますが、これは"「お父さん、お母さん、もっと私（僕）を見て！」という心のSOSや愛情を求めるサイン"であることがよくあります。

叱って正す前に、「寂しかったのかな」「話を聞いてほしいのかな」と一歩立ち止まり、ぎゅっと抱きしめたり、手を止めて目を見て話を聞く時間を作ってみてください。その「数分間の寄り添い」が、子どもの心を一番安心させます。

「『〇〇できたから好き』ではなく『あなただから好き』」

子どもにとって、家庭は心の羽を休める「安全基地」です。しかし、忙しさや「ちゃんとした子に育てたい」という思いから、普段の会話が「テストはどうだった？」「宿題は終わったの？」といった確認や注意ばかりになっていませんか？

子どもが「自分は愛されている」「大切にされている」と実感できるのは、何か成果を出した時（～ができたから褒める）だけではありません。「あなたが元気でいてくれるだけで嬉しい」「あなたの笑顔が大好き」という、存在そのものを認める言葉です。

行事で頑張っているこの季節だからこそ、「いつも見ているよ」「大好きだよ」という思いを、言葉やスキンシップで伝えていきましょう。心のエネルギーが満タンになると、子どもは自分から前を向いて歩き出せます。

「保護者の皆様も、一人で抱え込まないでください」

「子どもに優しく接したいのに、ついついイライラして怒ってしまう…」と、夜にお子様の寝顔を見て落ち込んだ経験はありませんか？ 親も一人の人間です。仕事や家事に追われ、心や体に余裕がない時は、子どもに寄り添うエネルギーが湧いてこないのも自然なことです。愛情を注ぐためには、まず保護者ご自身の心が満たされていることが大切です。

完璧を目指さず、1日5分だけでも自分のリラックスタイムを作ったり、愚痴をこぼせる場所を持ったりしてください。子育ての悩みや「どう接していいか分からない」と感じた時は、どうぞ学校や専門機関にもお気軽にご相談ください。

保護者用名札の着用、ありがとうございます

土曜参観、ありがとうございました。また、2限の参観後の人権教育講演会も聞いていただき、ありがとうございました。スマートフォンやタブレットPCは、これからの時代に必要なものです。子どもたちは、私たち大人より使いこなすのが早いので、それに負けないように、私たちも知識のバージョンアップしていきたいものです。

10月10日（土）は、運動会です。その際にも、保護者用名札の着用をお願いします。

貸出用名札は、体育館前の校舎沿いで受付を用意する予定にしています。

不審者対応訓練をしました。

9/17（木）に、和歌山西警察署の方にきていただき、不審者対応訓練を行いました。
今回は6年生の体育の授業の体育館へ不審者が現れたところからの訓練でした。
1年生は少し怖い思いをしてしまいましたが、教室の扉や窓をしめること（バリケードをつくること）や、静かにすること、場合によってはベランダから他の教室へ逃げることを確認しました。
教職員も、不審者の動きが早く、対応に混乱しながら、最終的にさすまたで取り押さえるところまで、訓練をしました。
訓練終了後、警察の方から子どもたちへ話をしてもらった後、教職員への振り返りもしていただきました。

不審者とみなしたら110番！

警察の方からは、「どこからが不審者か迷われると思いますが、学校敷地内へ正規のルートで入らなかったり、職員室へ声掛けがなかったり、名札の着用がなかったりした場合は、話しかけて確認する必要はなく、不審者として対応してほしい。警察署に連絡していただいたら、すぐに学校へ駆けつけます。」と、言われました。

子どもたちの安全・安心のため、
学校の敷地内に入る場合は、
不審者でないことを示すため
にも、
保護者用名札の着用
をお願いします。

10月の主な行事予定

11月の主な行事予定

その他の連絡
今年の2学期から用意している保護者用名札は、ひもを黄色に変更しています。（それ以前に用意した名札は、青色のひもです。）
同時に、教職員の名札のひもを緑色にしています。また、地域の方の名札のひもは桃色にしています。